



NY発

小池絵未の国際機関探訪

こんにちは！小池絵未です。NYに戻ってきました！今回は、国連事務局広報局アウトリーチ部のヒーマン・イン美奈子さんを訪ねました。

◆今回訪問した国際機関

国連事務局 広報局

- 国連事務局広報局は1946年設立。アウトリーチ部、ニュース・メディア部、戦略的コミュニケーション部の3部署で構成。
- ヒーマンさんが所属するアウトリーチ部は、出版物の発行、国連図書館の運営、教育機関やNGOとの連携、特別行事・展示の主催、国連ピース・メッセンジャーと親善大使プログラムの管理、クリエイティブ業界とのパートナーシップ構築などを担当します。
- ニュース・メディア部は、国連に関するニュースを世界に提供する部門。記者会見、「事務総長スポークスマン室」発表の声明、国連ウェブサイト、ラジオ放送、ライブのテレビ番組の運営などを行います。
- 戦略的コミュニケーション部は、国連の優先課題を周知させるためのコミュニケーション戦略とキャンペーンを実施する部門です。

◆お話を聞いた方

ヒーマン・イン美奈子
さん

国連事務局広報局(DPI)
アウトリーチ部 広報官補



①いつ頃、国際機関で働こうと思いましたか？

英国で高校に通学している時に、国際舞台で働く人たちと触れ合う機会を多く持ったことで、グローバルに活躍したいという夢がありました。

その後、カナダのトロント大学で、国際関係専門の図書館があり、書籍を読んだりする中で国際政治や国際経済にとっても興味が出ました。

大学3年の時、東京の国連大学で開催されたガイダンスに参加したことを契機に、国連で働きたいと強く思い、日本の大学院で国際協力政策という勉強をしました。

②どのような学歴をお持ちですか？

実は、中学まで中国に住んでいましたが、英語圏に住みたいという気持ちがあり、英国の高校に単身留学しました。

初めは、英語にとっても苦労し、1ページ読むのに分からない単語だらけで、30分かかったりしていました。

英国の後、カナダのトロント大学に進学、経済学及び東アジア学を専攻しました。

2005年にトロント大学を卒業、同年秋から立命館アジア太平洋大学(APU)大学院に進学し、国際協力政策(主に国際関係)を勉強しました。

その後、民間企業で数年間働き、2012年に退社、再び、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)でコミュニケーションの修士号を取りました。

③国際機関に入る前はどのようなお仕事をしてきたのですか？

2007年大学院修了後、日本の大手電機メーカーに入社し、広報に配属されました。

最初は国内PRチームに所属し、製品のプレスリリースの作成、記者対応などをしました。

初めての社会人経験だったので、とても苦労しましたが、その後、グローバルPRチームに異動し、英語をよく使うようになりました。

このチームでは、外国メディア対応をはじめ、海外子会社のPR担当と一緒にプロジェクトを実施したり、社内報の記事を書いたりするなど、幅広く広報の仕事に携わりました。

充実した社会人生活を過ごしていましたが、やはり心のどこかで国際機関で働きたいという夢を持っていました。

そして、30代直前に仕事を辞め、コミュニケーションを専門的に勉強することを決心し、大学院に改めて入学しました。

④どのような方法で国際機関に入りましたか？

2013年に初めてJPOへ応募したのですが、準備不足のため不合格でした。

そこで2回目の大学院卒業後、国連のインターンシップに30件程ネットで応募し、結果、国連事務局にあるアフリカ・リニューアル(雑誌)編集部のインターンシップを半年間体験しました。

インターンをしながら、JPOとYPPへ応募し、2014年夏に東京でJPOの2次試験を受けました。

そして、インターンシップ終了後、JPOに合格したという通知を受け、2015年4月からUN WOMEN本部戦略的パートナーシップ部に派遣されました。

その頃、YPP試験にも合格したことが判明しましたが、そのままUN WOMENのJPOとして勤務しながら、YPPの正規ポスト配属を待ちました。

現在は、2016年9月から国連広報局アウトリーチ部に配属されています。



⑤今の仕事について詳しく教えてください。

2つの業務があります。

クリエイティブ・コミュニティ・アウトリーチ・イニシアティブとメッセージジャー・オブ・ピース・プログラムです。

クリエイティブ・コミュニティ・アウトリーチ・イニシアティブは、テレビや映画業界等と提携して、国連の持続可能な開発目標などを映画の中に入れてもらったり、テレビの脚本をつくるときに国連の専門家を紹介したりします。

また、現在放映されている「インコーポレイテッド」というSFドラマで、気候変動などをテーマに扱っています。

もう一つの仕事は、メッセージジャー・オブ・ピース・プログラムです。

国連事務局には、平和メッセージのセレブレティが12人います。

バイオリニストの五嶋みどりさんもいますが、私の担当は指揮者のダニエル・バレンボイムさんとチェリストのヨーヨー・マさんです。

大きな行事でスピーチをしてもらったり、イベントに参加してもらったりする他、個人のSNSで国連のメッセージをプロモーションしてもらうこともあります。

12人のメッセージジャーの中で一番有名なのはレオナルド・ディカプリオさんですね。

⑥今後のキャリアについてどのようにお考えですか？

できれば国連でキャリアを積んでいきたいです。

ずっと同じ部署にいるのは、難しいので、キャリアアップのために、フィールドに出る必要もあり、将来アジアや中東でも勤務したいです。

この先、2年はYPPでNYにいる予定です。

NYには色々な価値観を持っている人が多く、多文化の中で一緒に働いているので、国連で仕事をするのが楽しいです。

自分の性格にも合っているので、国連で長く働きたいです。

今の仕事はもちろん、前職のUN WOMENで携わったパートナーシップの仕事(主に公的資金調達)もとても楽しかったので、そういうやりがいのある仕事を続けたいです。



⑦国際機関を目指している方にメッセージをお願いします！

20代のうちにやりたい事をやったほうがいいということです。

私自身、必要な勉強や経験を通じて、自分が国連に入るという情熱を買けたのが良かったです。

自分の専門を身につけて、大きな国際舞台に挑戦してください。

企業を退職して、大学院に出直すということは、なかなか勇気がなくてはできないと思います。

リスクがなければ、リターンもありません。

お金の事は何とかなると思っています。

実は、自分も貯金を全部使い果たした上、ローンまで組み、2回大学院に行ったのですが、その経験はpricelessだと思っています。

大企業に入ると安定し、挑戦しなくても不自由なく生活を続けていける環境が作れます。

でも、楽しくてやりたい事を貫くことができれば、後で色々な形になって戻ってくるので、まずは挑戦する心を持って欲しいです。

⑧ 今回の取材を振り返って、感じたこと。

ヒーマンさんは、日本語、中国語、英語が喋れるのですが、とてつもない努力や苦勞をしたのだと改めて感じました。

でも、そんな勤勉なヒーマンさんだからこそ、就きたかった職業についているのでしょう。

そして、ヒーマンさんがおっしゃっていた、リスクがなければリターンもないという言葉にはすごく同感しました。

私もチアをやっている時は、お給料が良くないこと等色々ありましたが、後でいろんな形で自分に返ってくるので、思いつき自分の好きな事に突き進めば良いと思います。

大学に行った後に大学院に進学し、仕事を退職して2度目の大学院に行くというヒーマンさんの行動力と勇気が素晴らしいと思いました。

お金がないからできないとか、安定した楽しい東京の生活から離れたくないが為に、夢を諦めようとしてしまっている人も多いかと思います。

でも、ヒーマンさんを見ると、自分の好きなことに挑戦した結果、NYの国連で色々な国の価値観の人と触れ合い、充実している様子がとても輝いて見えました。

もし、この先のキャリアで悩んでいる人がいたら、リスクがなければリターンもないという言葉をぜひ参考にしてください。



小池絵未 (Emi Koike)

1983年11月7日生まれ。東京都渋谷区出身。

高校から競技チアを開始し、3年連続で日本選手権大会第3位。米国ウエスタン・ケンタッキー大学に進学。大学のチアダンスチームに所属し、2005年全米大学チア・アンド・ダンス選手権で優勝。

その後、NHLナッシュビル・プレデターズ、アトランタ・ホークス、NHLアトランタ・スラッシャーズのダンスチームのメンバーとして活躍。2011年からはNFLのチアリーダーとしてニューヨーク・ジェッツで活躍。

NFL、NBA、NHLの米国3大スポーツリーグでチアリーダーに選出されるのは、日本人としては史上初。2013年チアリーダーを引退し、日本テレビ NFL倶楽部の現地リポーターとして活動中。ニューヨーク在住現地スポーツリポーターとして、NFLだけでなく、NBA、MLBの取材にも携わっている。

外務省 国際機関人事センターNewsletter
「小池絵未のNY発国際機関探訪」VOL.5

出演:ヒーマン・イン美奈子 国連事務局
広報局(DPI)アウトリーチ部 広報官補

取材地:NY

2017年2月5日発行



外務省 国際機関人事センター

jinji-center@mofa.go.jp / 03-5501-8238

<http://www.mofa-irc.go.jp>



<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>

